大学生がお答え!



総合型選抜試験(A目程) 通接Q&A



Q これをやっていて良かった!ということは?

あまり関わりのない先生方 にも協力してもらったのが 良かったと思いました。 志望動機や自己PRの書類に 書いた専門用語などを深堀 りしていたので、それに 関連する質問が来た時に 焦ることなく適切に回答 することが出来ました。

法律学科

どんな質問がきても対応で きるように対策した結果、 本番はスムーズにできまし た。現在は新型コロナウイ ルスの影響で、直接会って 対策することが難しい場合 には、ビデオ通話などで 友達と対策するのも有りだ と思います。

地域環境政策学科

笑顔を作ることが苦手だっ たのですが、面接練習で 笑顔を作る練習をしていて 良かったと感じました。 おかげで「表情管理」が 上手くなりました。

地域了政学科

ひとりで様々な面接のシチ ュエーションを考え練習し ていました。誰かに見られ ることもなく、評価される 怖さもないので自身の正直 な意見や新たな一面を見つ けることができ自己分析に もなります。イメージする だけではなく本番と同じよ うな声のボリュームでジェ スチャーを交えながら話す ことで、時間を有効活用し ていました。

経済学科

A

あまり面識のない先生にも 面接練習を手伝ってもらい 本番に近い状況のシチュエ ーションで練習したのが 効果的だったと思います。

産業情報学科

A

進路指導室で過去の先輩方の面接内容を調べ、そこに 載っている全ての質問に対する回答をある程度考えて おいたこと。備えあれば憂いなしです!

あとはひたすら実践練習を 繰り返し行うこと!数を重 ねる毎にうまくなっていく のが自分でも分かり、自信 につながります。

英米言語文化学科

A

社会文化学科

Д

A

人間福祉学科 社会福祉専攻

A

面接練習の前に、自分と向き合いなら志望由を考える。まただっまた。ときるではなく面接で答えるのではなの理由まで考えるを含むました。

人間福出学科 心理カウンセリング専攻